

30th Anniversary

Cable One

ケーブルワン
30年史

それは、1本の
ケーブルから
始まった。

目次

6【挨拶】「すべては1本のケーブルから始まった」——30年史の発刊にあたり

株式会社ケーブルワン 代表取締役社長 大野裕志

14【巻頭言】「三十年今昔物語」

総務省情報流通行政局 局長 吉崎正弘

19【トップ対談】古川 康（佐賀県知事）× 原隆司（株式会社ケーブルワン 代表取締役会長）

「誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくり」——県政と地域メディアの関わり方——

33【各界からの祝辞メッセージ】ケーブルワン30周年に寄せて

児玉俊介／田中征治／志波幸男／緒方浩之／泉俊彦／宮園季治／西条温／唐澤俊二郎／安藤彰／佐藤浩市
森紀元／金澤憲二・かつ子／佐藤英生／古賀久登／遠藤信博／二ノ宮隆夫／和崎信哉／木田由紀夫／加藤徹
小坂博／岩本昭治／上田修／笹島一樹／佐々木嘉雄／猪股英紀／奥山和由／伊澤偉行／一瀬悦子（敬称略・計29名）

91【創業者、原隆司とケーブルワン30余年の軌跡】

「それは、1本のケーブルから始まった。」

163

【受賞作品紹介と賞状】 ケーブルワンの受賞作品紹介

「突撃チャンネル2」／「一通の手紙から 如蘭塾の娘たち」／「風のように走れ」／「どうする一億円?! テレビシンポジウム」
 「隆雄さんに春がきた」／「長崎街道物語〜武雄路編〜」／「災害情報」8/19・8/20 水害」／「武雄市と雄武町の交流」
 「母が学んだ国 続如蘭塾の娘たち」／「50年目の遺言〜残された子孫へ」／「飛龍窯に集う人々」
 「Times '98 総集編」／「夢への挑戦〜全国大会目指した最後の夏〜」／「われら2・7足立組 夢、配達します」
 「まぼろしのみかん〜今村温州にかける想い」／「検証 揺れる市町村合併」／「おばタマ」
 「新・武雄市長 市議会議員選挙開票速報」／「佐賀のがばいばあちゃん ドラマを支えた市民たち」
 「葉隠墓苑―先人たちに想いを馳せて」／「おばタマ」お年寄りいきいき朝日の里」／「葉隠墓苑―広がりゆく交流の輪―」

175

【社員メッセージ】 ケーブルワン30周年に寄せて

203

【データで振り返る30年】

佐賀県の総人口と総世帯数の推移／武雄市の総人口の推移／エリアマップ／加入者数の推移／売上総利益の推移

210

【あとがき】

株式会社ケーブルワン 代表取締役会長 原 隆 司

219

【年表 1979年〜2012年】 年表で紐解くケーブルワンの歴史

255

【会社概要】



「すべては1本のケーブルから始まった」
—— 30年史の発刊にあたり

株式会社ケーブルワン

代表取締役社長

大野裕志

ケーブルワン30年史の発刊にあたり、総務省情報流通行政局長 吉崎正弘様はじめ、多くの皆様にご寄稿いただき誠に有難うございました。また佐賀県知事 古川康様には、原会長との対談のために、貴重なお時間をいただき誠に有難うございました。さらに1979年（昭和54年）創業以来、ご支援を賜りました総務省（旧郵政省）様、並びに佐賀県、武雄市、大町町、江北町、白石町の各自治体様、ケーブルテレビ業界のご関係各位、そして何よりもご愛顧いただいております地域の全ての皆様に心から御礼を申し上げます。

私事ですが、私のケーブルワン（当時、武雄有線テレビ）入社は、創業から2年目の1981年（昭和56年）4月でした。当時の社長（非常勤）は、北川安洋氏（故人）。ルアー（疑似餌）のトップメーカー、株式会社デュエル（当時、ヨーヅリ）の創業者で、一代でデュエルを世界企業に育て上げた人物です。その風貌と言動は、当に中国の故事に云う大人（たいじん）のようで、他の創業メンバーとともに、陰に陽に現場を支援していただきました。

入社当時、現場は原隆司会長（当時、常務取締役）に女性の事務職員と私の3人でした。原会長には、その後30年間、ずっと直属の上司として鍛えられてきました。その話に踏み入るとキリがありませんので機会を譲りますが、原会長なくして今のケーブルワンはなく、その薫陶なくして今の私はありません。

私が入社してからの数年間は、ほとんど手探りの毎日でした。厚紙に新聞のラテ面を貼り付け、再送信をしている局に赤丸を付けて、「有線テレビに加入したら、こんなにたくさんチャンネルが見られますよ」とサービスエリア内の家々を回りました。コミュニティチャンネルの番組制作は週に1本。ホームビデオでお遊戯会や運動会を収録して、ろくな編集もせず、粗い画質の番組を何度もリピート放送していました。それでも放送の度に数件のご加入をいただき、徐々に「孫のお遊戯会が